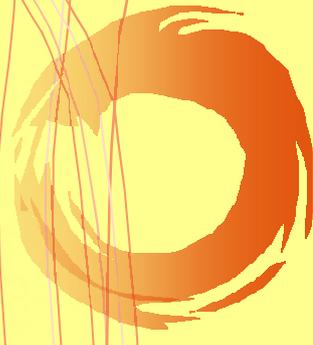


# 今、そしてこれからの幼児教育を 考えるつどい

～福井県幼児教育プログラム策定委員会中間報告～



平成24年1月7日

# I はじめに

本県の幼児期の教育は、日々歴史と伝統に培われた幼児教育を継承する保育所・幼稚園において、教育内容・方法の充実・改善の努力が続けられています。こうした関係者の熱心な指導が、共稼ぎ世帯の多い本県幼児家庭を支えています。

一方で、時代の変化に伴い、幼児の基本的な生活習慣や食生活の乱れ、規範意識の希薄化、運動能力の低下、コミュニケーション能力の不足等の課題が指摘されるようになってきました。

また、少子・高齢・人口減少社会の到来、生活様式や価値観の多様化等幼児を取り巻く環境は大きく変化しており、小学校では、いわゆる“小1プロブレム”といった問題も表面化しています。

このような背景の中、人材育成の観点から、人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性がますます高まっています。

福井県幼児教育プログラム策定委員会では、本県の幼児教育の実態を明らかにするため、幼児家庭や幼児教育現場の現状を初めて調査しました。

このつどいを機会に、本県の特長を活かした幼児教育のあり方を議論し、みなさんと一緒に、幼児教育の一層の向上に努めていきます。

# Ⅱ 調査の概要

実態調査は、幼児教育関係者と幼児の保護者を対象に実施しました。

## ①県が実施したアンケート

	幼児教育実態調査 【教職員編】	幼児教育実態調査 【保護者編】
実施期間	平成23年9月～平成23年10月	平成23年10月
対象者	保育士 幼稚園教諭 小学校1・2年生担任教諭 計3,000人	0歳児から5歳児の保護者 計3,000人
回答率	2,478人（回答率82.6%）	回答者1,324人（回答率44.1%）

## ②比較する全国調査

	全国保育所・幼稚園アンケート	首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）幼児保護者アンケート
全国調査 （ベネッセ次世代育成研究所）	幼児教育・保育についての基本調査	第4回幼児の生活アンケート

# Ⅲ 幼児教育実態調査【教職員編】

## 1 調査の概要

### ①施設別内訳

	回答数	割合
公立保育所	534	21.5%
私立保育所	1,075	43.4%
国公立幼稚園	181	7.3%
私立幼稚園	177	7.2%
認定こども園	38	1.5%
小学校	448	18.1%
未記入・無効等	25	1.0%
計	2,478	100.0%

### ②地域別内訳

	回答数	割合
福井・坂井	1,308	52.8%
奥越	222	9.0%
丹南	592	23.9%
嶺南	337	13.6%
未記入・無効等	19	0.8%
計	2,478	100.0%

### ③ 全国調査の概要

区分	調査時期	調査対象	対象区域	回答数
幼稚園編	H19.6月	園児数30人以上の国公立幼稚園長・副園長・主任（1園につき1名が回答）	国内全域	対象数 7,100 回答数 1,604 回答率 22.6%
保育所編	H20.9～10月	園児数30人以上の認可保育所長・施設長（園長）、副所長・副施設長（副園長）、主任（1園につき1名が回答）	国内全域	対象数 12,100 回答数 3,018 回答率 25.2%

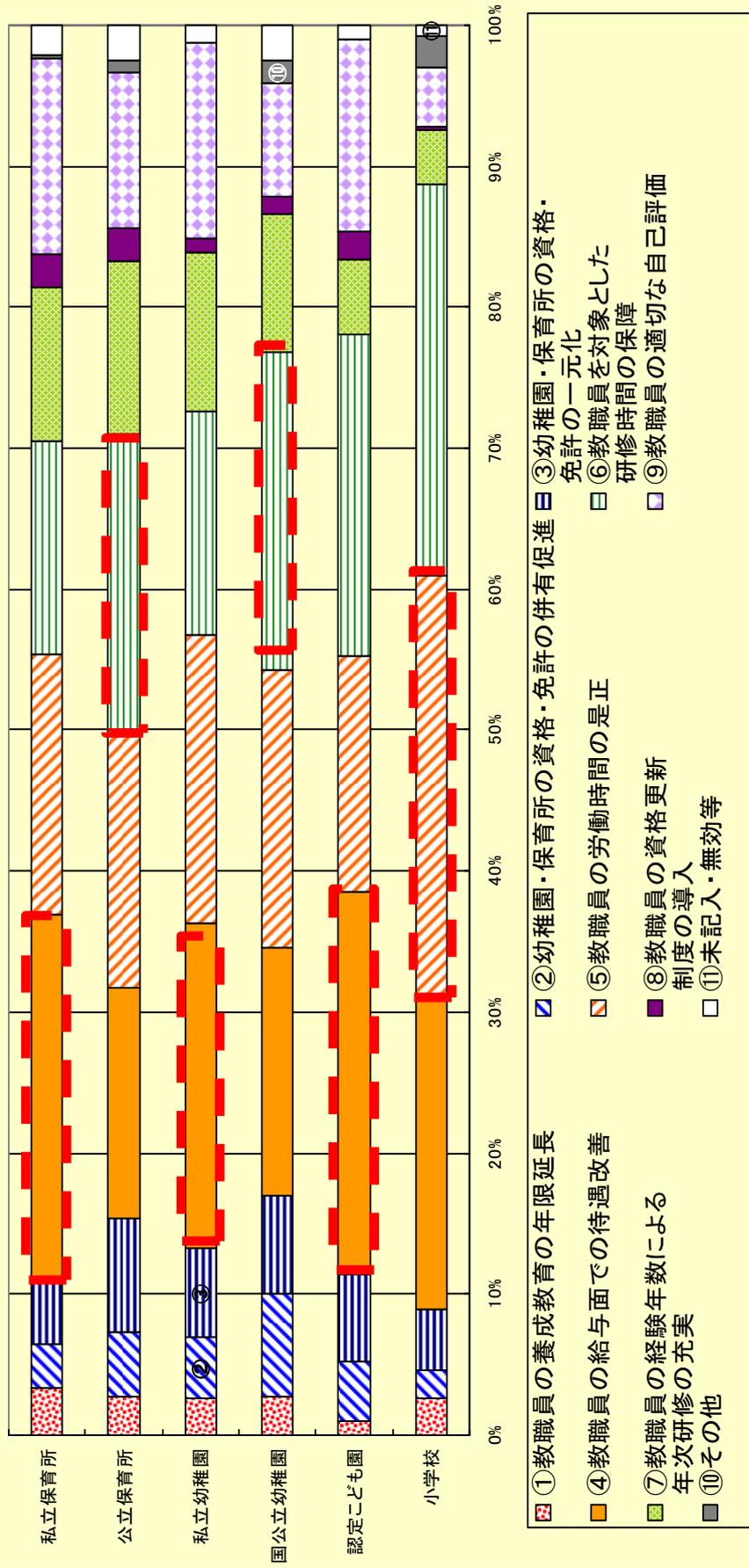
## 2 教職員の資質向上

### 資質向上のために必要だと思われること 施設ごとの主な意見

私立保育所・幼稚園では、④教職員の給与面での待遇改善  
 国公立保育所・幼稚園では、⑥教職員を対象とした研修時間の保障  
 小学校では、⑤教職員の労働時間の是正

が多い。

教職員の資質向上に必要だと思うこと(3つまで複数回答可)

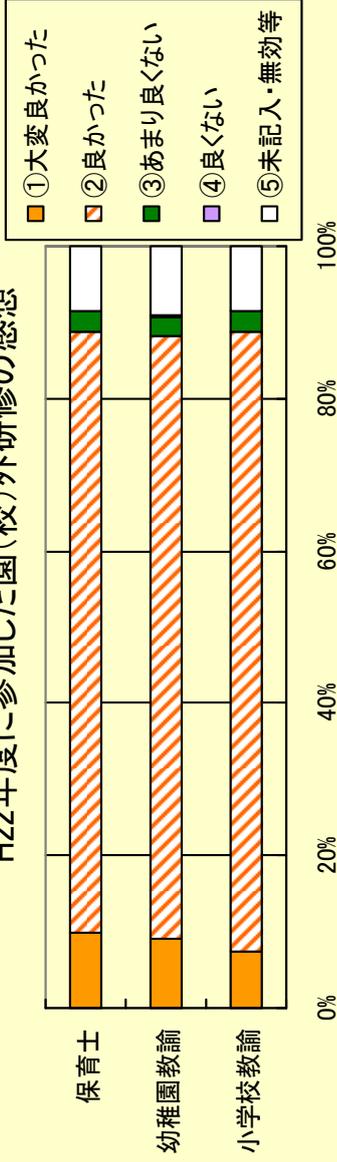


## 園外研修

### 園外研修の満足度

良かったとする回答が全体の88.4%を占め、概ね満足している結果となった。

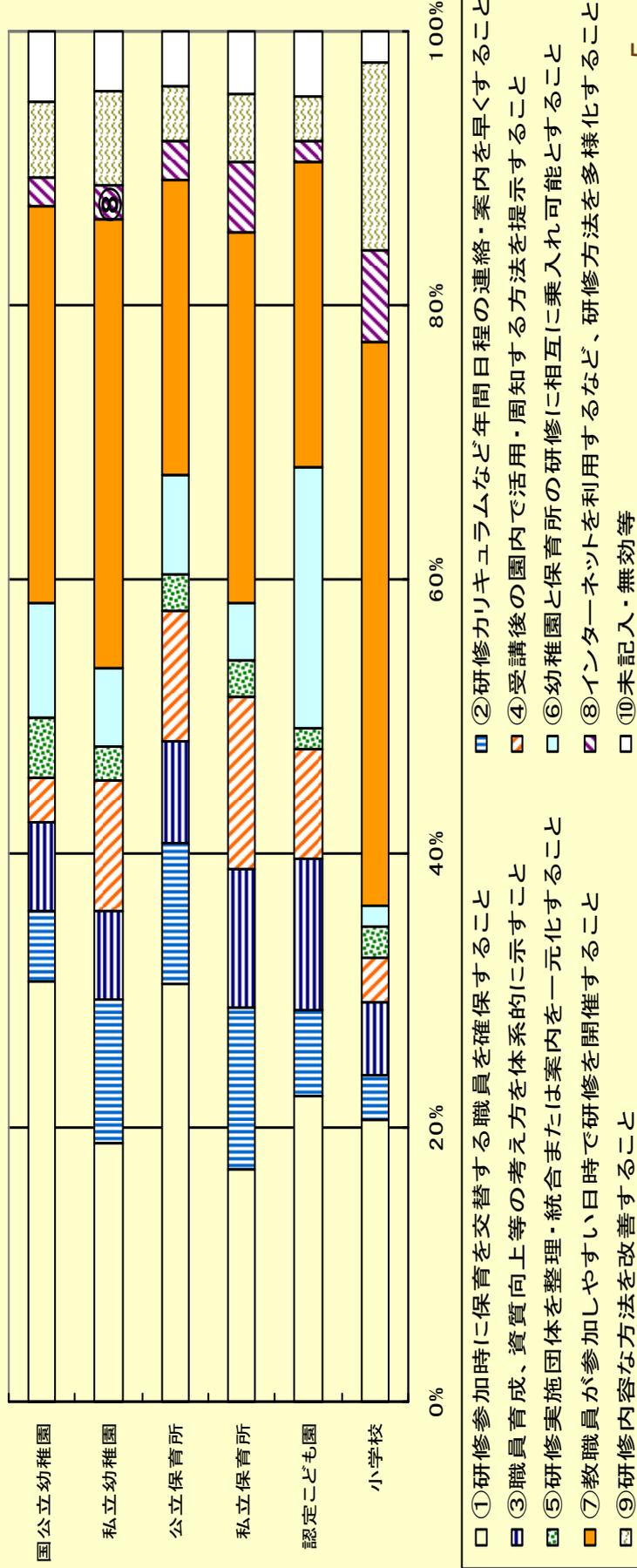
H22年度に参加した園(校)外研修の感想



### これからの改善点

国公立幼稚園・公立保育所では、①研修参加時に保育を交替する職員を確保すること  
これ以外の施設では、⑦教職員が参加しやすい日時に研修を開催することが多い。

教職員研修の改善点(該当する事項2つまで)

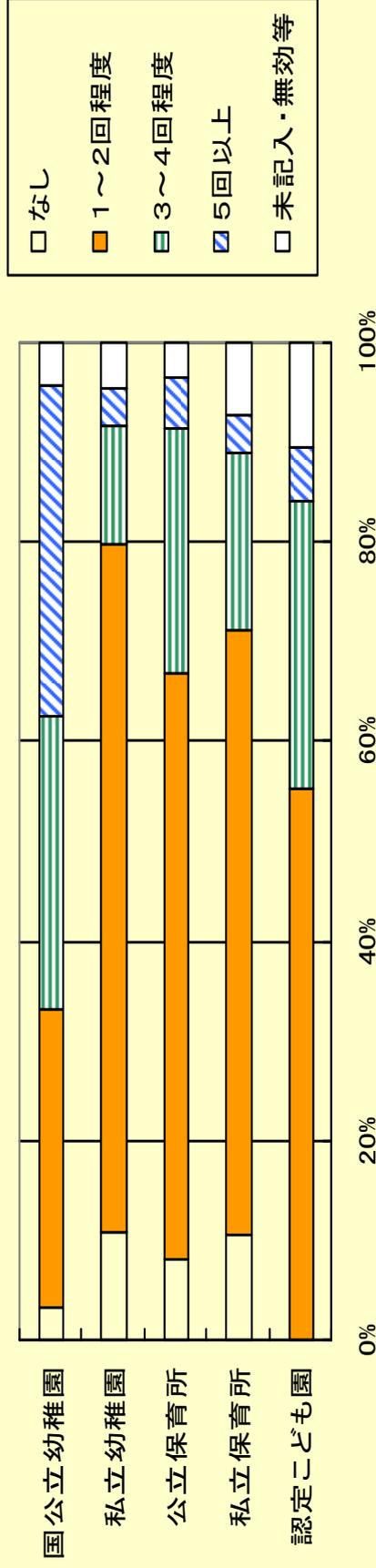


### 3 保幼小の連携

#### 交流状況

国公立幼稚園は比較的交流が盛ん（「5回以上」の割合33.1%）。

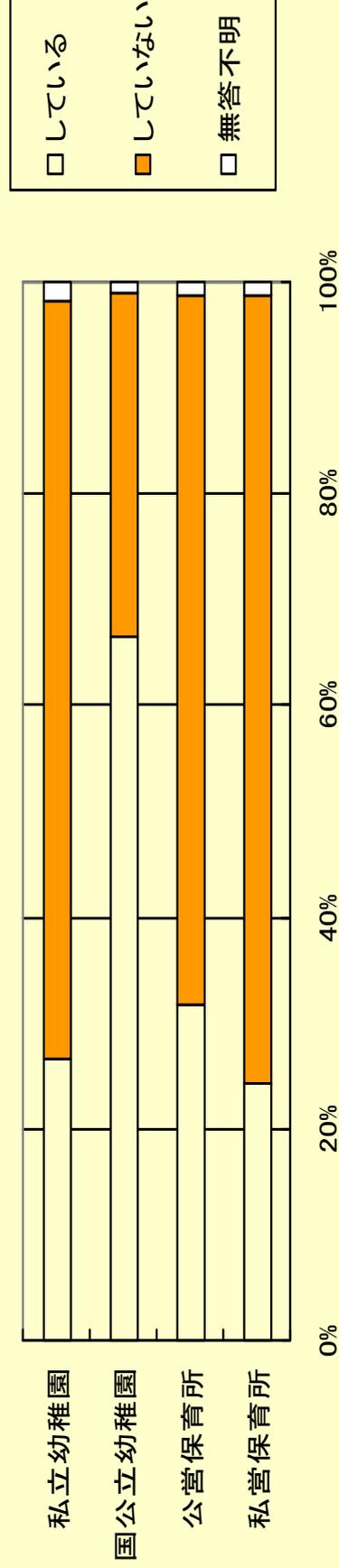
保育所・幼稚園と小学校の交流状況（H22年度）



#### 全国調査との比較

本県と同様に国公立幼稚園で交流が盛んとなっている。

園の教員・保育士等と近接の小学校の教員の交流 ～全国調査～



## 保幼小連携

### 推進するための具体的な方策

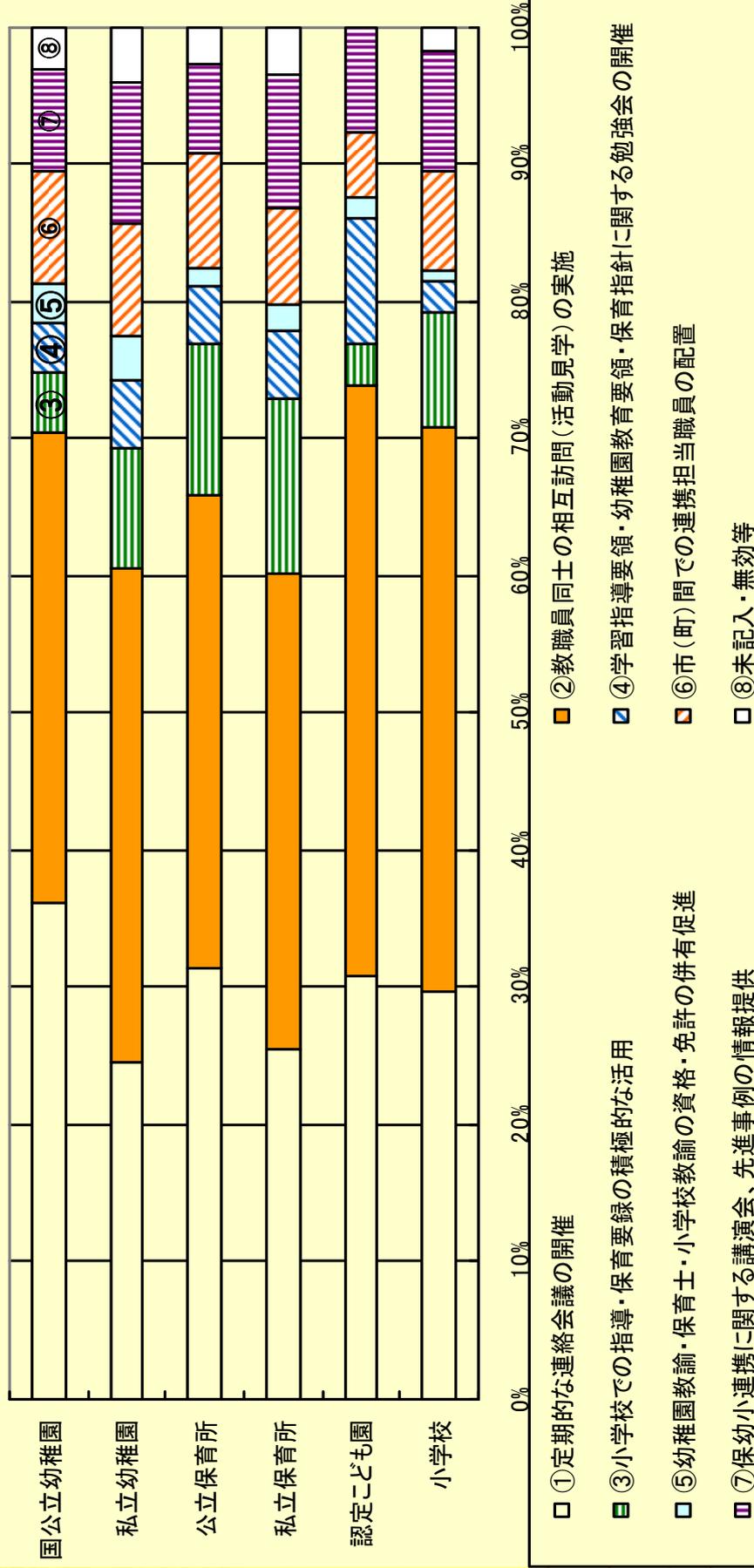
② 教職員同士の相互訪問（活動見学）

① 定期的な連絡会議の開催

の順に多い。

また、保育所では「③小学校での指導・保育要録の積極的な活用」と回答した割合も高い。

保幼小連携の推進方策（該当する事項2つまで）

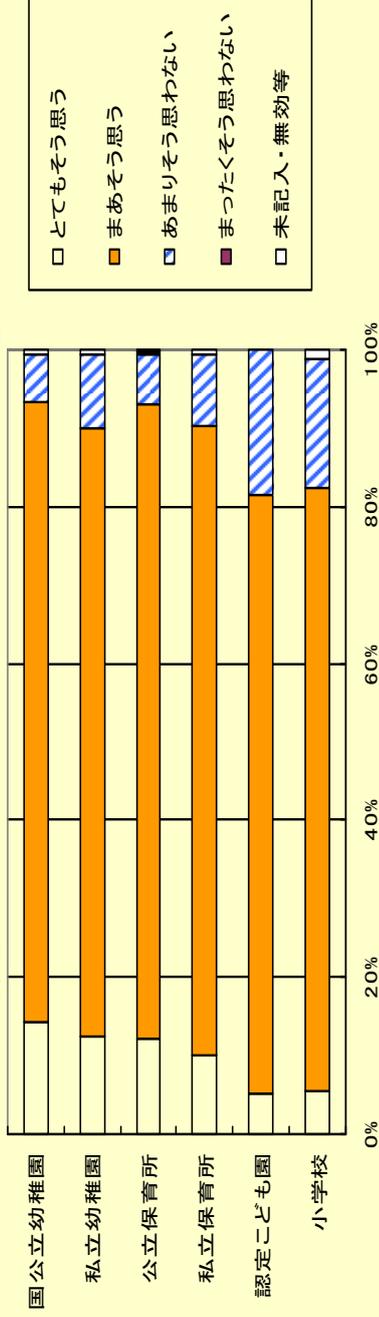


## 4 家庭教育

### 保護者とのコミュニケーション

小学校や認定こども園では、保護者とコミュニケーションがとれていないとする割合が高くなっている。

日常的に保護者とコミュニケーションがとれていると思えますか

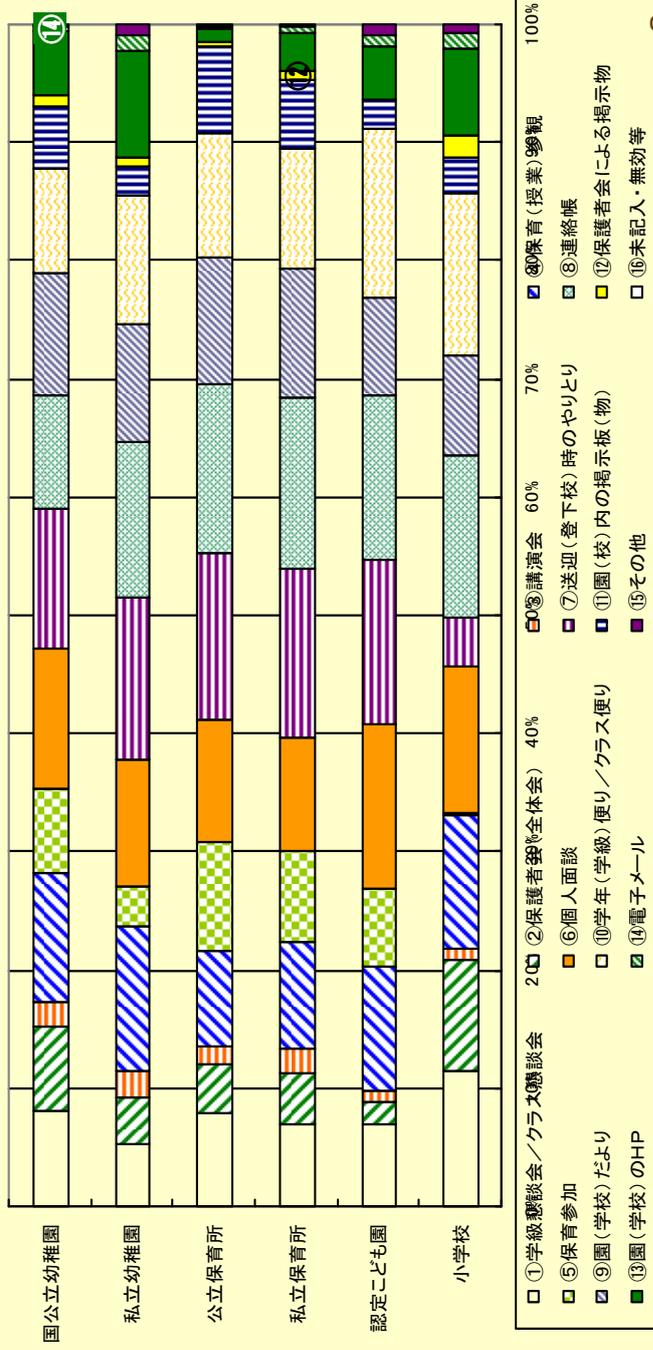


**保護者への伝達方法**  
 保育所・幼稚園では⑦送迎時の保護者とのやりとりが最も多い。

小学校では⑧連絡帳が多い。

また、私立幼稚園や小学校では⑬ホームページと⑭電子メールを活用する割合が高い。

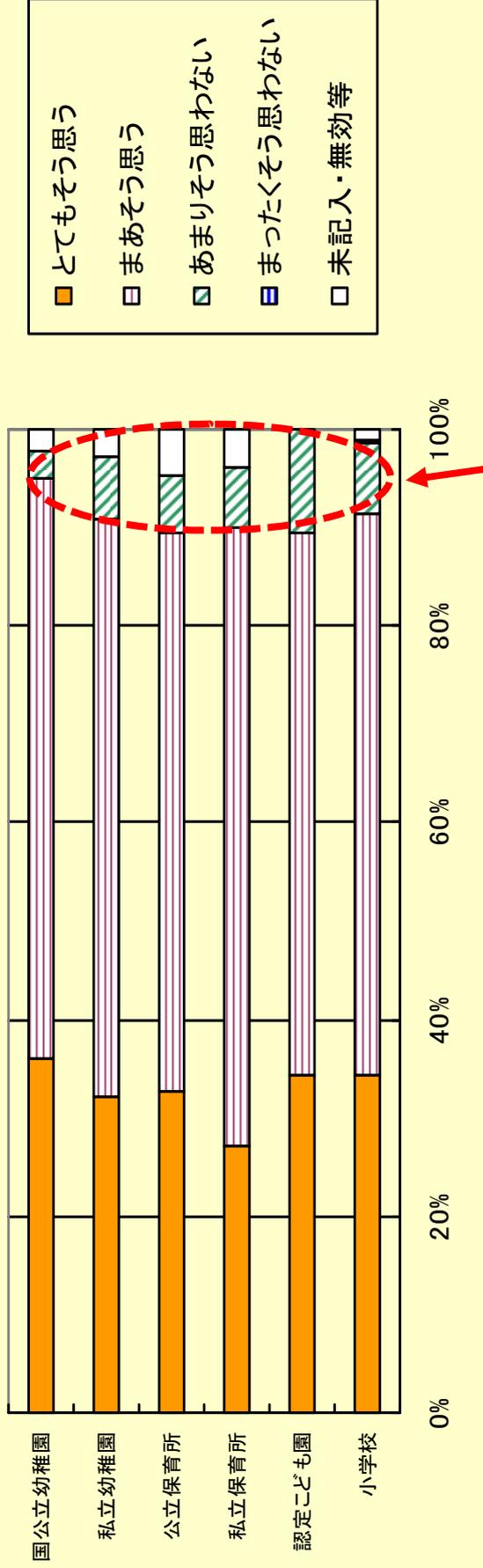
園児・児童に関する情報や園(学校)での様子を保護者にどのように伝えていきますか(複数回答可)



## 家庭教育支援

### 本県の教職員は家庭教育支援に前向き

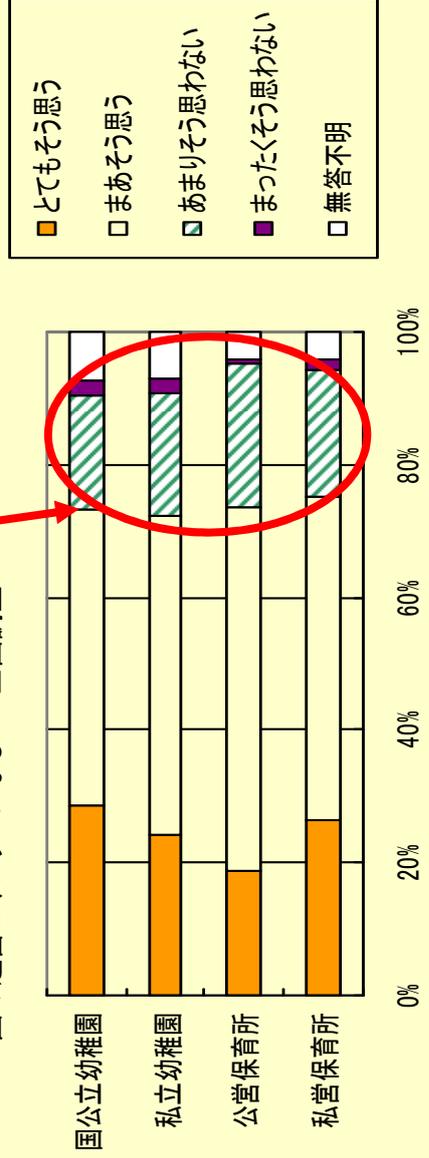
学校等の運営にプラスになる



### 全国調査との比較

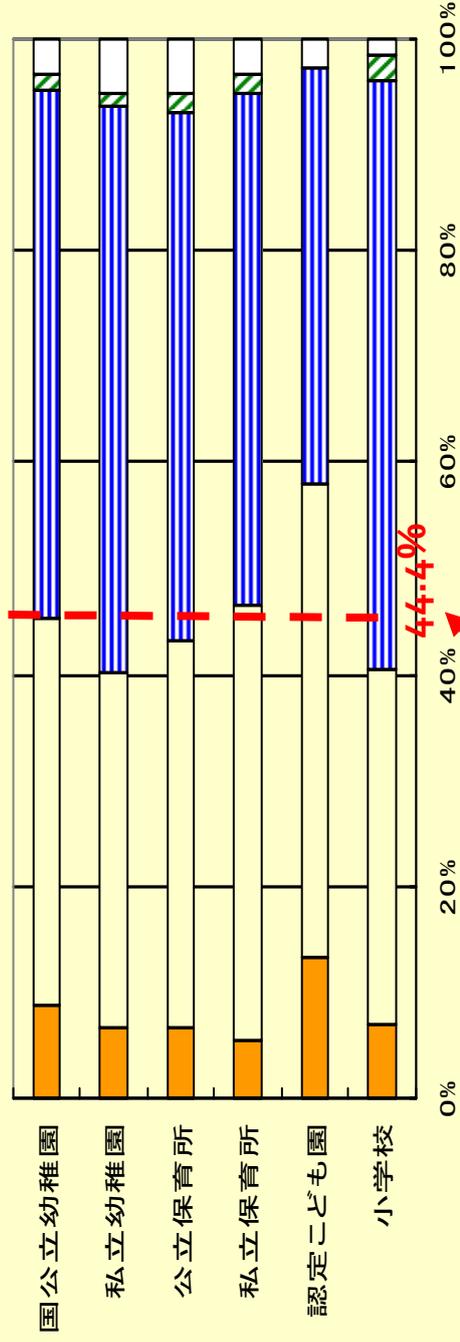
福井県では、家庭教育を支援することに消極的な考えをもちそう思う割合が、全国調査のあまり思うわないとまったく思うわないの合計に比べて低い。

園の運営上、プラスになる ~ 全国調査 ~



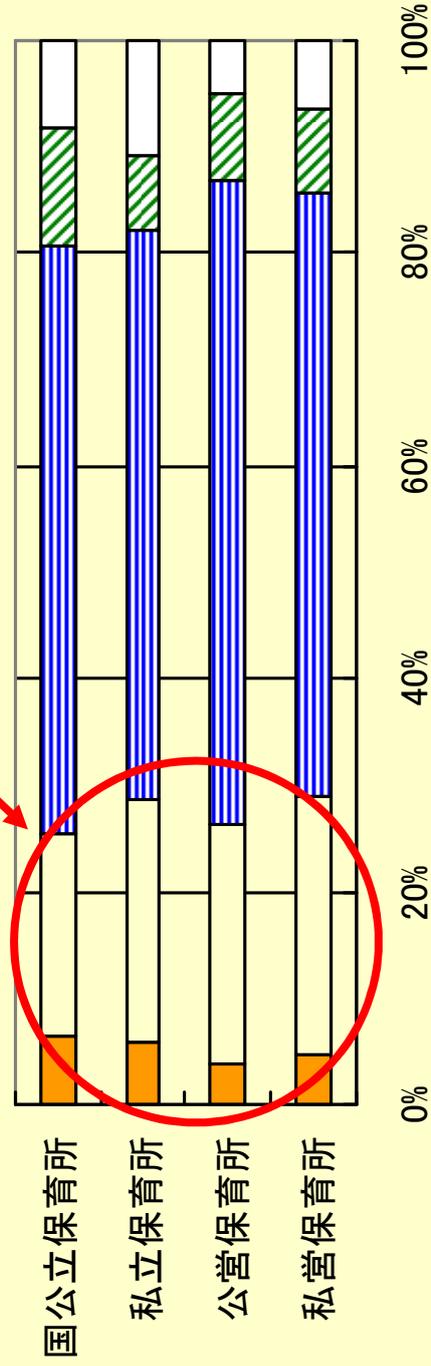
# 幼稚園・保育所による家庭教育の支援が保護者の依存を招くとする意見は、全体の半数近くを占めている

保護者の依存を招く



- とても思う
- まあ思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 未記入・無効等

保護者の依存を招く ～全国調査～



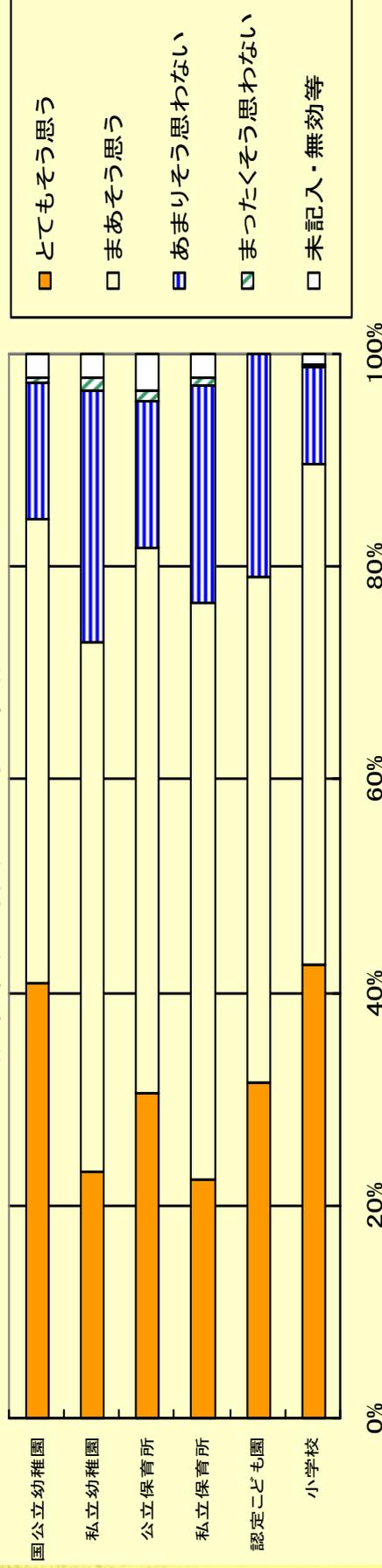
- とても思う
- まあ思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 無答不明

教職員／保育士等の負担が大きい（「とても思う」と「まあそう思う」の合計）

○ 国公立幼稚園、公立保育所と小学校 **80%以上**

○ 私立幼稚園、私立保育所と認定こども園 **70%台**

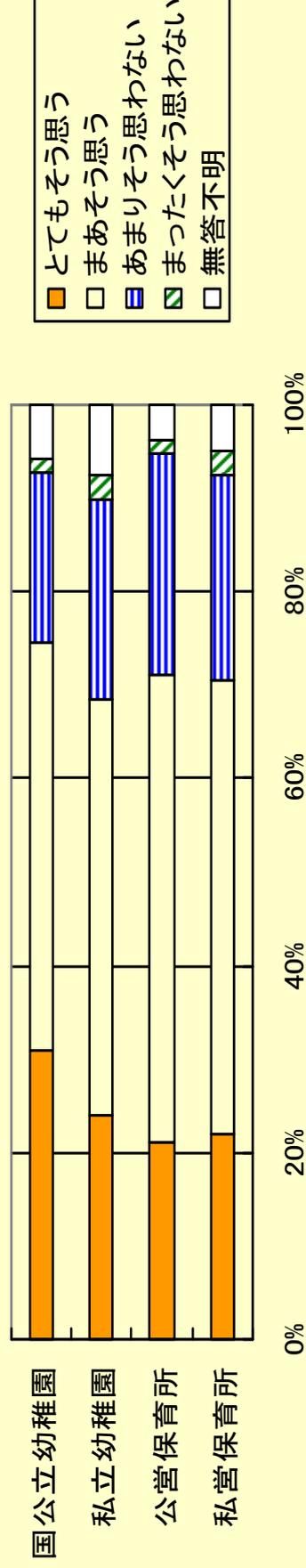
教職員／保育士等の負担が大きい



### 全国調査との比較

本県と同様に肯定的な意見が70%を超えている。

教職員／保育士等の負担が大きい ～全国調査～

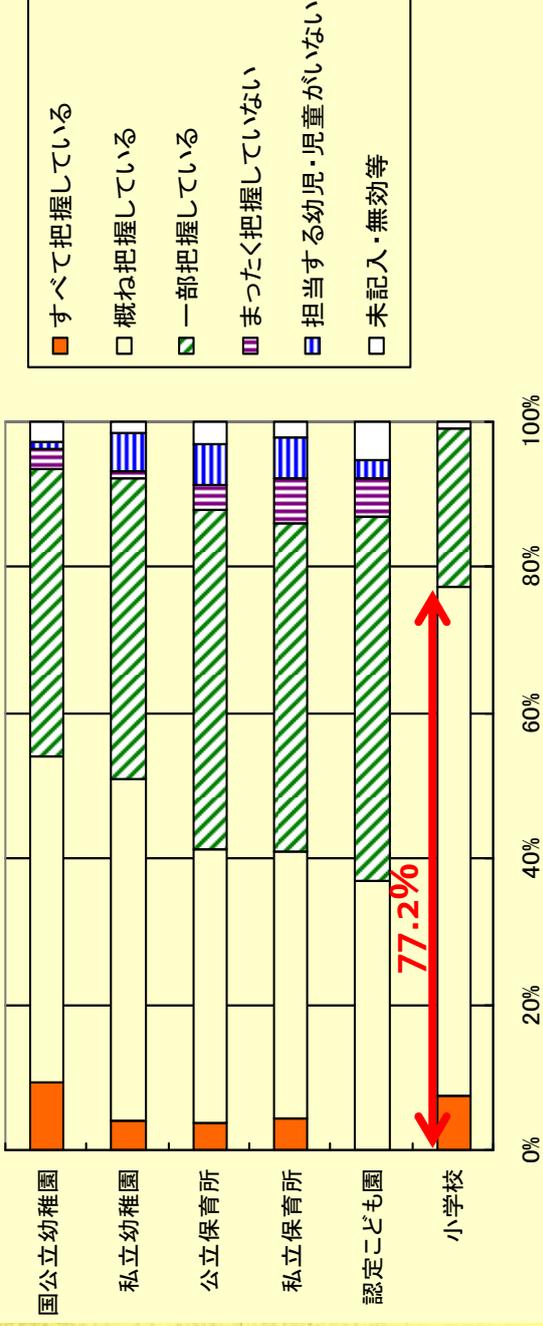


## 習い事・塾

### 習い事・塾の把握状況

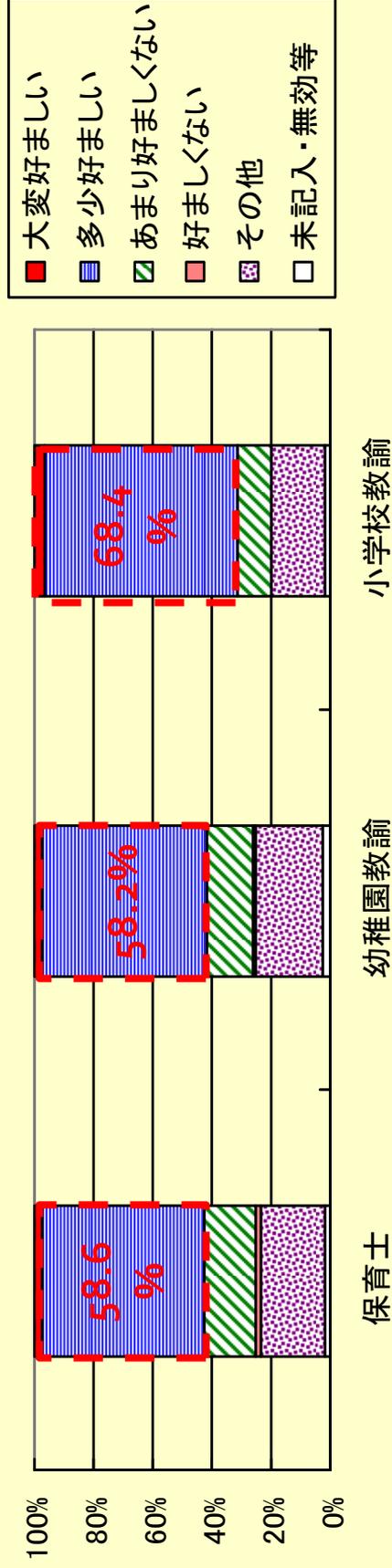
- ①小学校 77.2%
- ②幼稚園 52.5%
- ③保育所 41.2%

### 担当する園児・児童の習い事・塾の状況を把握していますか



### 園児・児童が習い事・塾に通うことについて ～小学校教諭ほど肯定的～ 小学校教諭は「大変好ましい」と「多少好ましい」の合計が68.4%と最も高い

### 園児・児童が習い事・塾に通うことについてどう思いますか



## 保護者会 (PTA)

活発に活動している施設

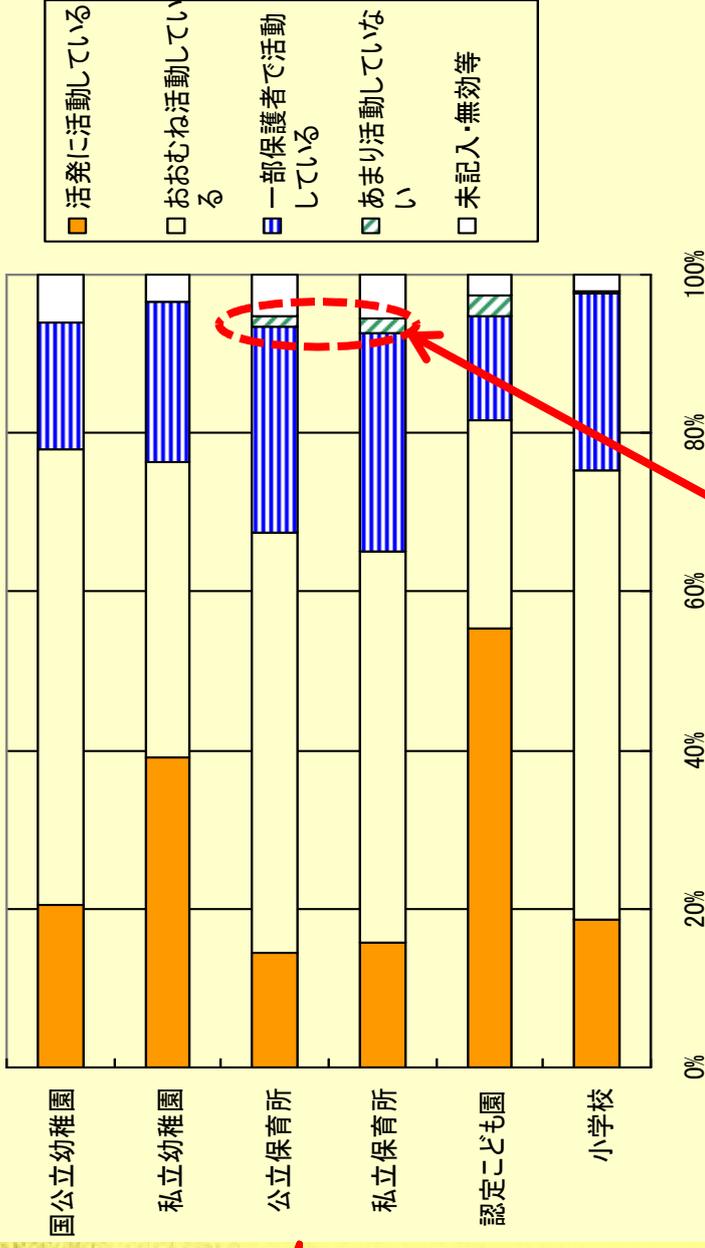
- 認定こども園 55.3%
- 私立幼稚園 39.0%

活発に活動する  
本県保護者会  
(PTA) !

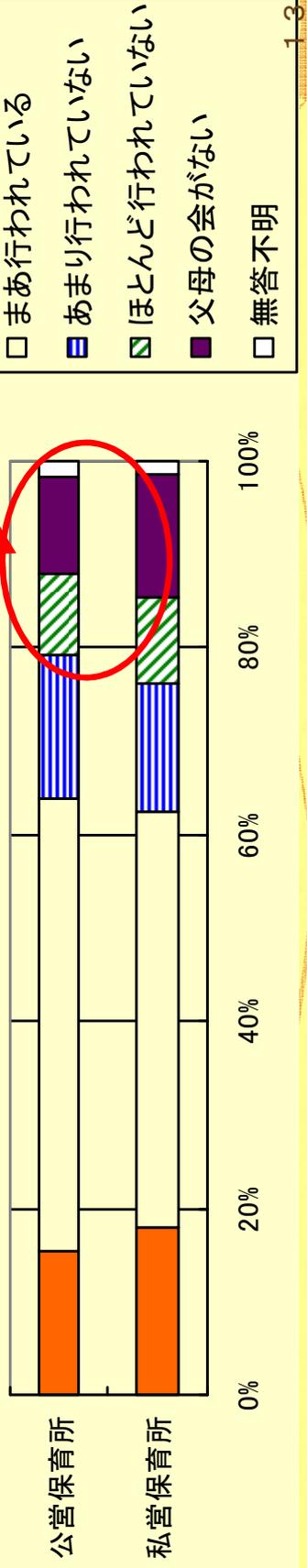
## 全国調査との比較

全国では保護者会の活動が「ほとんど行われていない」または「父母の会がない」ところが多く、**福井県の保護者会 (PTA) 活動が活発であることがわかる。**

保護者会(PTA)の活動状況

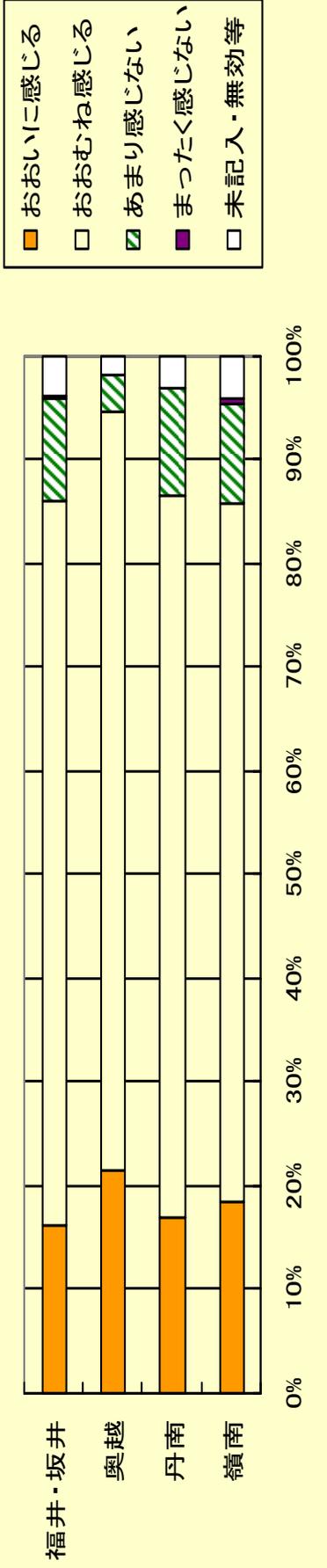


父母の会による活動の実施状況 ～全国調査～



## 5 地域教育

学校等から地域住民との関わりを積極的に進めていく必要を感じますか



### 学校等と地域住民との関わり

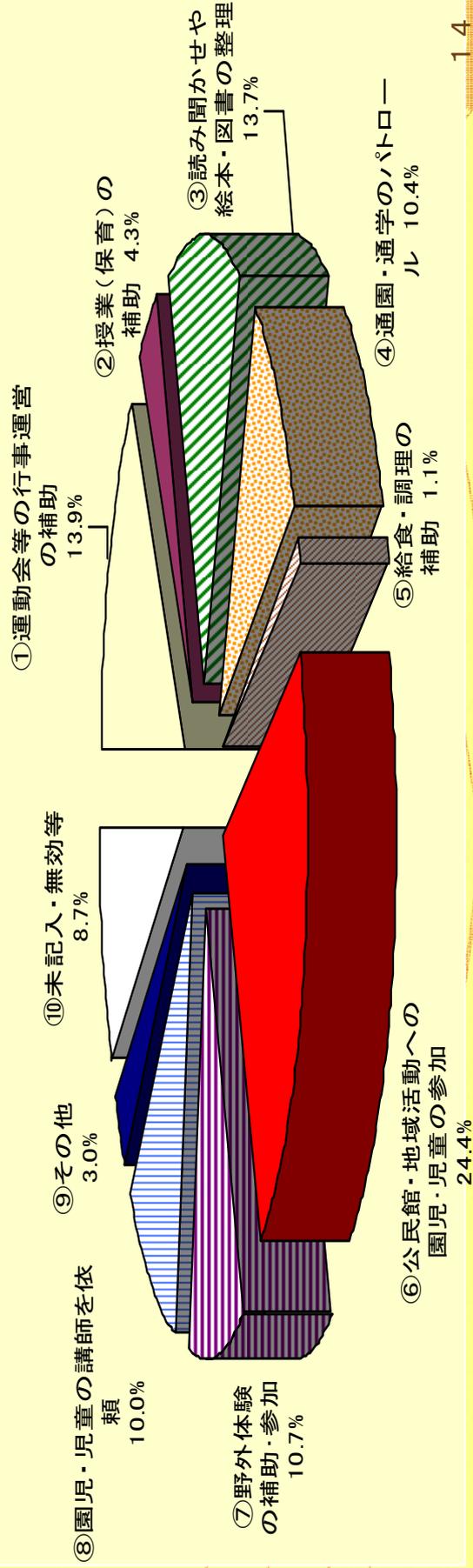
⑥公民館・地域活動への園児・児童の参加 24.4%

①運動会等の行事運営の補助 13.9%

③読み聞かせや絵本・図書の整理 13.7%

の順となっている。

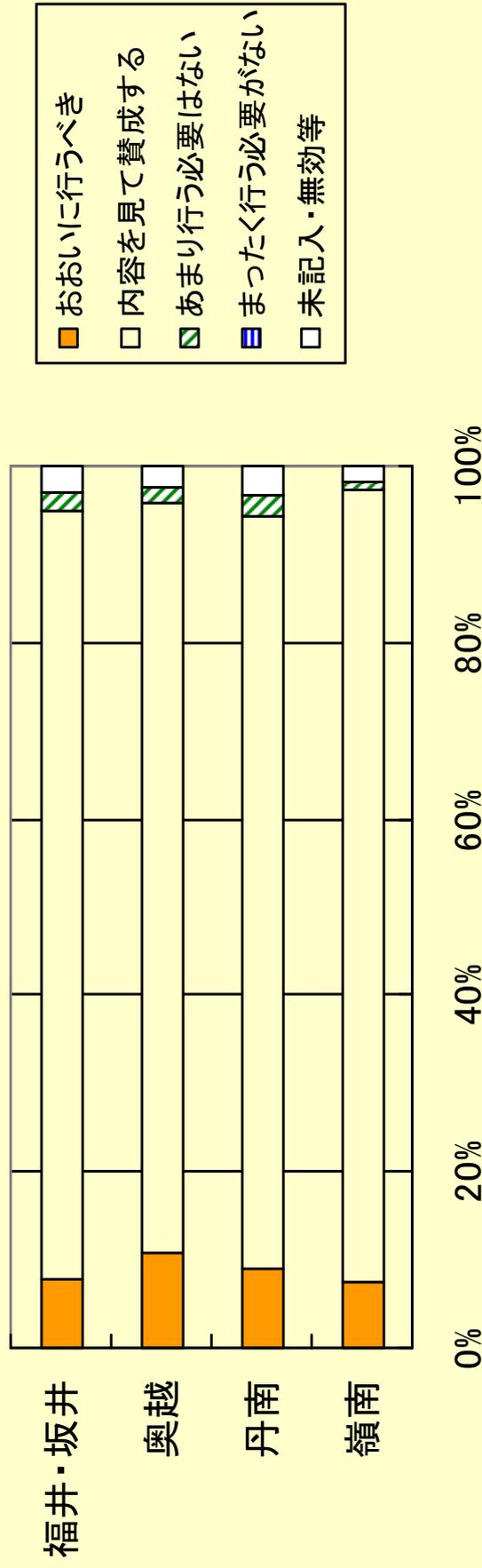
地域住民との関わりについて(該当するすべての事項に「○」)



## 地域主体の園（校）外活動

地域主体の園（校）外活動については「内容を見て賛成する」が最も多い。園や学校では、これまでも多くの公民館、地域と連携した活動に参加しており、今後は内容を見て精査していく意識が見られる。

地域主体の園（校）外活動について

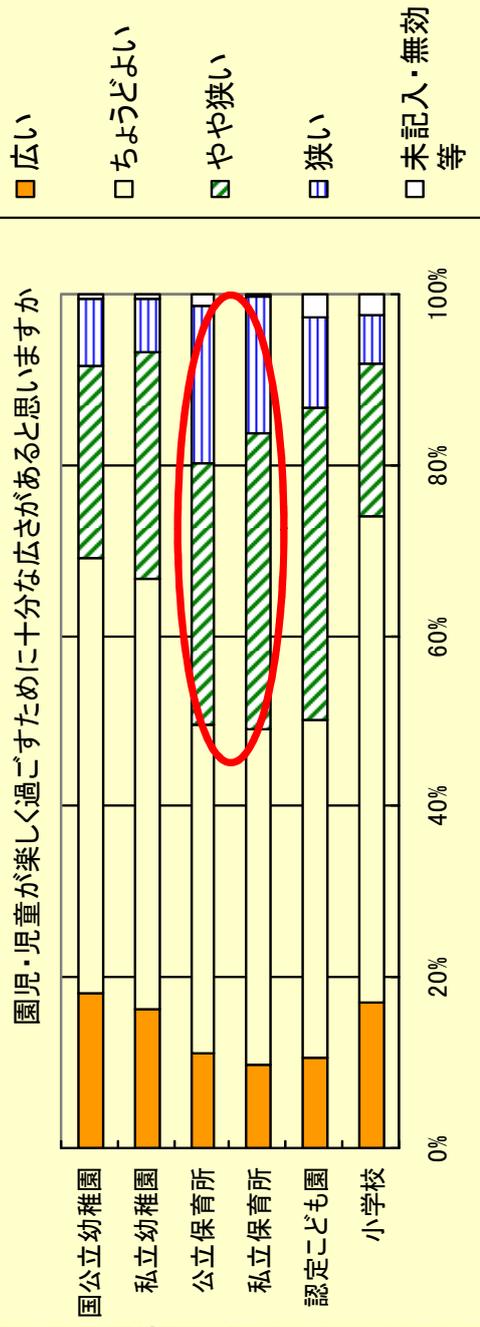


## 6 楽しい園（学校）生活

### 園庭

#### 園庭の広さ

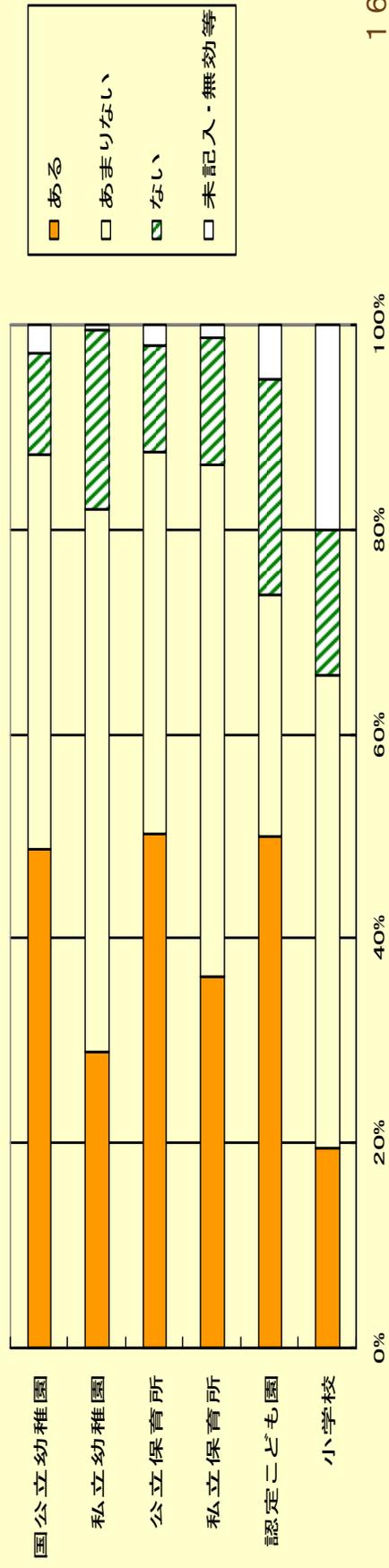
保育所では、園庭がやや狭いという意見が多い。保育所最低基準の改訂に伴い、隣接する公園等の活用が認められていることが背景にあると思われる。



#### 園庭活動の支障の有無

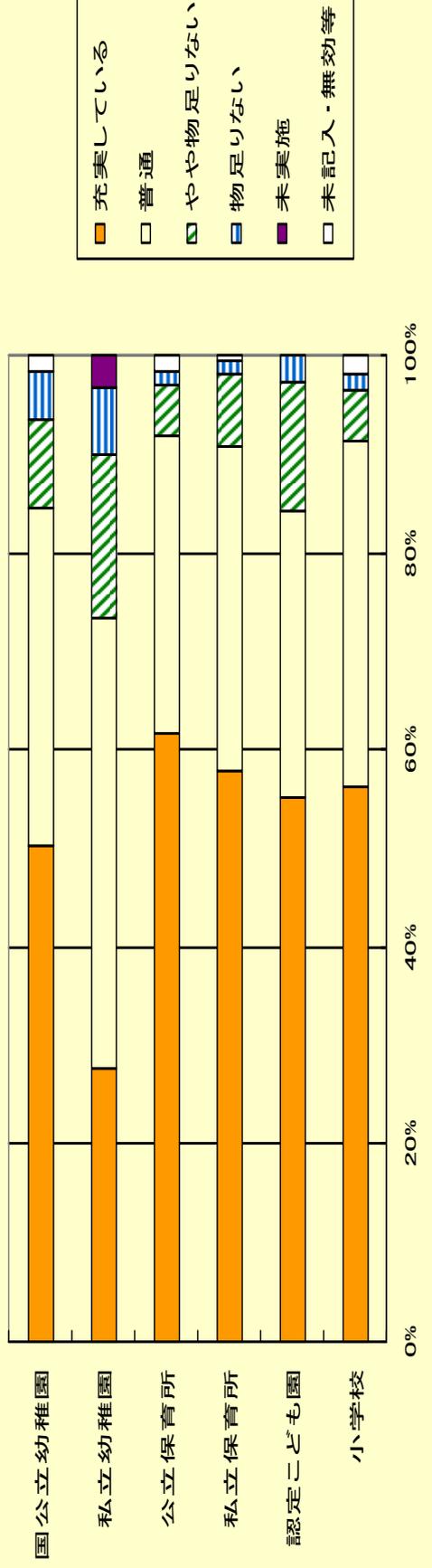
- ① 公立保育園(50.2%)
- ② 認定こども園(50.0%)
- ③ 国公立幼稚園 (48.6%) の順となっており、**私立保育所・幼稚園ほど低くなっている。**

園児を保育中に園庭に支障があると感じたことがありますか



# 給食

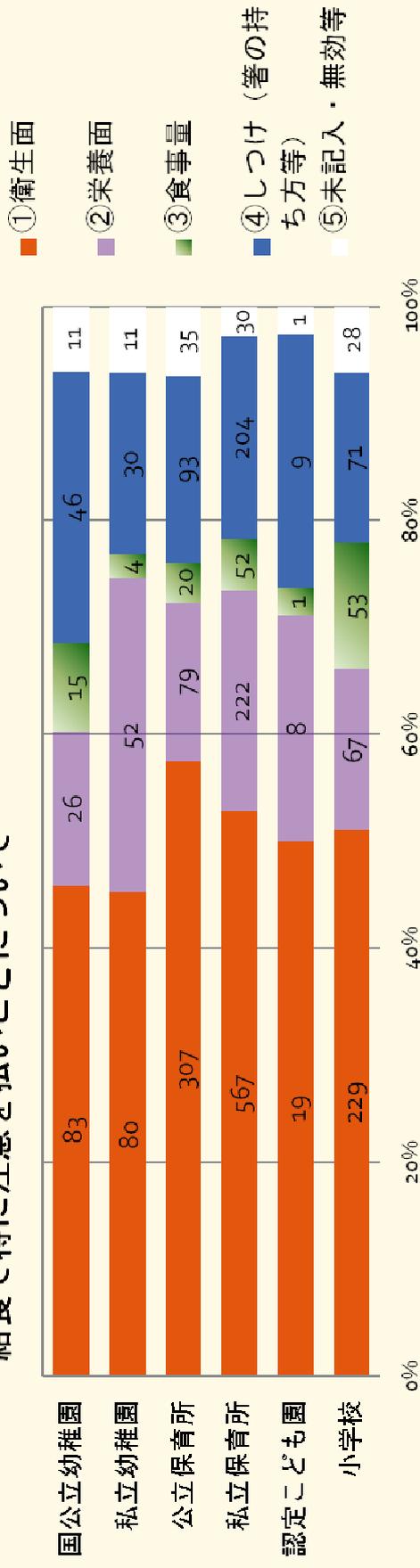
学校等の給食は園児・児童にとって満足のいくものとなっていますか



## 特に注意を払っていること

いずれの施設でも①衛生面である。私立幼稚園では②栄養面が、それ以外の施設では③しつけ（箸の持ち方等）に注意を払う割合が高い。

給食で特に注意を払いことについて

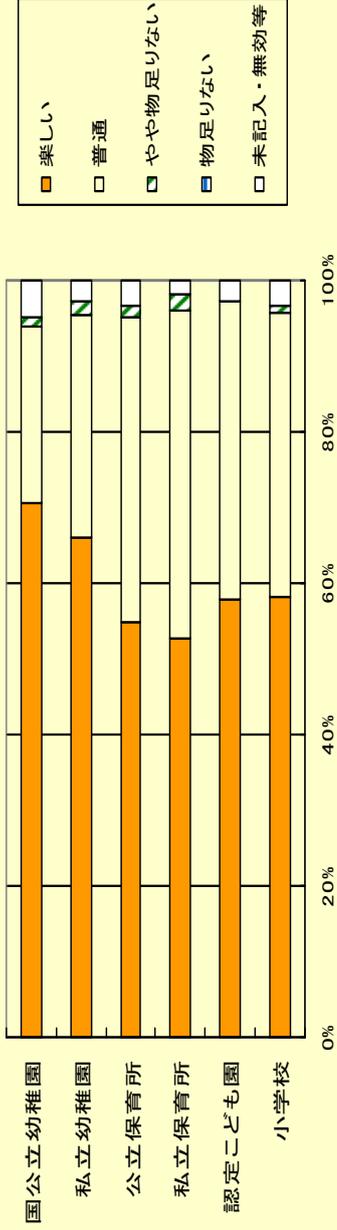


## 満足度

### 園児・児童が楽しいと感じている教職員

- 全体 56.5%
- 満足度の高い施設
  - ① 国立幼稚園 70.7%
  - ② 私立幼稚園 66.1%

園児・児童の学校等生活の満足度はどのように感じますか



### 満足度が低い園児・児童の理由（施設ごとの主な意見）

全体では①園児・児童同士の交流が多いは、保育所では④家庭生活、認定こども園では①園児・児童同士の交流と⑥カリキュラム内容が多く、施設ごとにはばらつきがある。

満足度が低い園児・児童の理由は何であると思いますか

